

平成29年度 第1回管内指導主事・社会教育主事連絡協議会を開催

平成29年5月2日（火）に、第1回指導主事・社会教育主事連絡協議会を開催いたしました。午前には、所長から講話の後で、水戸教育事務所、水戸生涯学習センター、近代美術館からの事業説明と、小美玉市教育委員会からコミュニティ・スクール推進事業の取組について発表をしていただきました。午後には、指導主事研修会と社会教育主事研修会に分かれ、指導主事や社会教育主事としての資質や指導力の向上を図る研修を行いました。

以下に、午前のコミュニティ・スクール推進事業の取組についての発表と、午後の指導主事研修会と社会教育主事研修会の様子を掲載いたします。

＜午前の部＞コミュニティ・スクール推進事業：小美玉市教育委員会

- コミュニティ・スクール（CS）とは
コミュニティ・スクールとは、保護者、地域の皆さん、校長等で構成される「学校運営協議会」を設置している学校のことを指します。学校、保護者、地域住民がそれぞれの立場で互いのイメージ（期待や不安、不満、強みや弱み等）について、熟議を通して、目標やビジョンを明確にしていくことで、さらに連携を深め、教育活動を推進していきます。
- CSの取組について（野田小学校の取組から）
野田小学校運営協議会と野田学区コミュニティ、PTA教育後援会が連携して活動を推進しています。学習支援ボランティアや「健康生活カルタ」を用いてのカルタ大会、健康まつり「ふれあい運動会」等、子供たちが地域の方と共に活動し、学んでいくことを大切に、様々な活動を展開しています。
- CSの設置について（小川北中学校を例にして）
コミュニティ・スクールは、学校と地域が課題を認識し、共通の目標やビジョンを持つことから始まります。小川北中学校と学区内の地域の方々の願いを共有しながら、具体的な活動の展開を目指しています。小美玉市教育委員会としても、学校運営協議会規則を作成し、学校運営協議会の適切な設置と、学校と地域とが連携した教育活動の推進に努めています。



小美玉市CSの取組の紹介

【指導主事研修会】

《茨城大学教育学部附属小学校での
授業参観及び研究協議》

教科等	単 元
国語	昔の人々の自然の見方を感じよう（和歌）
算数	かけ算をつかおう（かけ算の活用）
道徳	ぼくの みんなの よいところ

＜授業を参観した指導主事のコメント＞

- ・学校全体が向上心をもって取り組まれている様子がかがえました。
- ・新しい教材へのチャレンジは素晴らしいと思いました。
- ・先生方の子供と一緒に授業をつくらうとする姿が素晴らしかったです。
- ・子供に投げかける言葉や発言を拾って授業を組み立てる等が参考になりました。
- ・教師が一人一人の表情をよく見て、心の動きを捉えている姿勢が素晴らしかったです。

＜午後の部＞

【社会教育主事研修会】

《内容》

- 平成29年度県生涯学習課事業の推進について
- 学校教育支援について
地域とともにある学校づくり推進の在り方をテーマに熟議を行った。
＜熟議のポイントとなったこと＞
・学校運営協議会について
・「地域とともにある学校づくり」の必要性
・学校・家庭・地域の役割分担と連携
・人間関係づくり（コミュニケーション方法）
・地方創生と郷土教育
- ＜まとめとして＞
よりよい子供たちの教育環境づくりを中心に据え地域をまとめていく。
※熟議：多くの当事者による「熟慮」「討議」を重ねながら政策を形成していくこと
(文部科学省 政策創造エンジン熟議カケアイより)

平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫育成功労学校賞を受賞

—東海村立石神小学校、笠間市立笠間中学校—

本年度の科学技術分野の文部科学大臣表彰「創意工夫育成功労学校賞」を東海村立石神小学校と笠間市立笠間中学校が受賞しました。

これまでの発明工夫展や児童生徒科学研究作品展への積極的な取組、野外観察コーナーや理科室環境の整備、児童生徒の興味・関心や学ぶ意欲を高めるための地域の芸術祭への参加や地域教材の開発等の実績が評価されたものです。おめでとうございます。



受賞報告に来所された石神小の菌部守校長先生（左）と笠間中の金澤彰校長先生（右）